

神経内科専攻医カリキュラム

1. 目標

神経内科を幅広く研修し、知識、技能、態度、全てに優れた、神経内科専門医取得を目指す。

2. 研修スケジュール

神経内科専門医養成研修プログラムに従い、神経内科外来、救急外来、入院診療を通して研修を行う。

年度	
1年度	入院診療から始め、慣れるに従い、神経内科外来診療も行う。
2年度	入院、外来診療。学会、研究会での発表。
3年度	上記に加え、発表の論文化を目指す。
終了後の予定	帰局、転勤、当院で常勤医、など。

3. 診療科の特徴

当神経内科は東三河地域の最後の砦として重要な役割を果たしている。診療地域は、東三河全域から静岡県湖西地域まで広がっており、脳卒中、脳炎、髄膜炎、てんかん、などの急性期疾患から、あらゆる神経難病、変性疾患、認知症、ニューロパチー、ミオパチー、など、多種多彩な疾患に対応している。

4. 研修体制

1) 教育病院の指定の有無

日本神経学会認定教育施設、日本脳卒中学会認定教育施設

2) 研修カリキュラム

日本神経学会専門医養成研修プログラムに準拠。

3) 取得可能な認定医および取得可能な時期

初期研修開始後6年で日本神経学会専門医取得可能

4) スタッフ体制(平成22年4月現在)

部長1名、副部長2名、専攻医1名。

5) 症例検討会、抄読会等のスケジュール

(1) 症例検討会: 毎日当日分の脳、脊髄のCT, MRI を読影し、症例検討を行う。午後4時～

(2) 勉強会、抄読会: おおよそ月1～2回火曜日 5時～

(3) 神経内科・リハカンファレンス: 3週1回木曜日 8時30分～9時

6) 主な参加学会

日本神経学会、日本脳卒中学会、日本神経治療学会、など

7) 定期的に参加する研究会等

神経内科関連の研究会が名古屋だけでなく、東三河地域を代表する豊橋でも数多く開催されており、それらの会に可能な限り出席する。

5. 主な経験目標

以下、1)、2)は全て日本神経学会専門医養成研修プログラムに基づく。

1) 診察法・検査・手技

- (1) 診察法
- (2) 検査法
- (3) 基本的手技
- (4) 基本的治療法

2) 経験すべき症状・病態・疾患

- (1) 症状
- (2) 病態
- (3) 疾患

3) 研究会・学会発表・論文発表

神経内科関連の研究会、日本神経学会東海北陸地方会、総会、などに発表し、その中で優れたものを論文発表する。